



大城好弘 議員

大型サンエー西原店進出を問う!!

問 中部製糖跡地に二番目に大きい西原サンエー店が出店計画されているが①オープン時期 ②店舗の規模 ③本町にどのようなメリット、デメリットがあるか ④開発に伴って地域との整合はどのようにしているかを伺います。

町長 仮称西原シティサンエー店は平成十五年十月より平年予定、四階建四万五千平米、売場面積一万八千平米、五、六業種の出店が予定されています。本町の核づくり、商工業の振興、地域の活性化、雇用の効果が一番大きいと思います。

問 本年度は東崎公園の基本計画策定について

問 地域に親しまれる店舗づくりを

その反面、小規模業種のテナントへの参入問題、基盤整備や行政、町民との関わりが今後の課題でもあります。本町として第一項目の要望書を提出し整合をはかっています。

問 出店に伴って、①雇用拡大への積極的取組み

②交通網の整備、特にオーブンに向けて、町道奥屋、小那覇線金秀工場跡から中部製糖跡側へ通り抜けできるように、中部製糖、サンエー、町役場の三者協議会で整備促進していくこと。③小規模事業所への情報の提供育成対策、④本町の花木であるサワヅジの木を本木以上植栽して地域に親しまれる店舗造りが出来ないか、また映画館や娯楽施設を施設し若者に喜ばれる店等を行政として取組で下さるよう要望いたします。

問 こんな質問もしました。一、調整池で小波津川の冠水防止を早期整備について

が、多目的広場として野球場以外の利活用を考えているが、また公園の植栽については、これまでの整備された既存の児童公園や運動公園等の植栽の方法を充分再チェックして、沖繩の気候風土にあった、風通しが良く、蚊や病害虫の発生が少なくて見通し良く、更に樹木の維持管理費が最小限におさえられる、公園策定が望まれるが当局の考えをお聞きします。

ごみ袋指定(有料)に伴う諸問題を伺う 家族介護者に精神的ケアを!



伊川幸子 議員

問 今議会に廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正が提案されていますが、これは四月一日からの家電リサイクル法の施行に伴い町の収集運搬手数料の追加が生じた。町はそれに合わせてごみ袋の指定(有料)と粗大ごみの有料化を実施する為の条例改正でもある。この件で何回町民との対話の場を設けたか。また町民とのコンサスは十分に図られたと思うか。

健康衛生課長 条例を提案する前に当該の方でいろいろな団体、役員会等で説明を

りません。将来的な諸施設の位置づけについては県と調整してきております。西原側からオートキャンプ場、雄飛橋の根元から一帯がオートキャンプ場、センターがビッグツツ広場、そのセンターに管理棟、与那原側に海浜スポーツ広場、地元からの提起としては収益施設の張り付け、レストハウス等々です。又ウオータースライダー等の子供たちをより集客する機能、青年層を取り組むようなマリンスポーツ、サーフィン、ビーチバレー、ビーチサッカー等の空間も創設していただきたいというふうな提起し、現在調整をしているところであります。

問 形は大小は問わないが町独自のリサイクルクラブを立ち上げ、エコクラブを立ち上げる予定はないか。

健康衛生課長 両方とも必要と思うがリサイクルクラブは運営方法など課題もあるので検討したい。エコクラブは資料等取り寄せて検討してみた。

問 以前あったクリーン指導員を復活させる目的の人数、構成を伺う。

健康衛生課長 システムの変更に伴う諸課題の解決(ごみ排出の仕方の指導、不法投棄の情報提供、情報交換会への参加、視察研修など)に協力願う。十二名で構成するが具体的に誰に決めていないが諸々検討して決めた。

問 介護保険の導入に依る家族介護者の交流の場はあるか。

福祉課長 守礼の里への委託事業の家族教室で介護の方法、介護予防、介護者の健康づくり等の知識や技術の習得などで交流を行っている。

問 スーパー等からの買い物袋(透明・半透明)を資源ごみを排出する時に使用できる様には欲しいが、不都合な点は何か。

健康衛生課長 指定袋(有料)にする目的にごみ減量化を図ること、町民の意識改革に期待がある。マイバッグ運動と並行して余計なごみ(袋)を家に持ち帰らないというねらいもある。ごみ袋の指定を徹底していきたい。



一般質問



伊礼一美 議員

ごみ有料化(指定袋制)町民に理解を!!

問 ごみ有料化(指定袋制)する考え方は。

町長 町民は、ごみ減量に努力しているが近年、ごみ処理費用が膨大な額にはね上がっている。今後の最終処分場建設等を考えた場合に、財政は限界に近い状況で、有料化をやるを得ない。有料化する前にやるべきことがあるのでは。

問 ごみ処理基本計画では一日一人当たりのごみ排出量は六〇〇グラムを目

標値をかかげている。いま一日一人当たりごみ排出量は六〇〇グラム程度だ。一〇グラム減量するのにごみ有料化が必要か。

健康衛生課長 負担の公平性を期する目的もある。ごみを多く出す人、少なく出す人、それなりに負担してもらおう。

問 女団協は、率先してごみ減量と町民への啓蒙活動に取り組んでください。

「ちあすが、わったーゴミ」のフオーラムも開かれ

問 ごみをもとで減らすことを訴えるべきである。

「最終的には事業所が責任をもつべきと考える。

問 人工ビーチは収益機能の高い計画で県への提起を!!

人工ビーチは収益機能の高い計画で県への提起を!!

問 現時点での地元計画は

現時点での地元計画は

問 健康保険証の個人化

健康保険証の個人化

健康衛生課長 ごみ減量化に向けて、いろいろ取り組んできた。平成四年度、モデル地域における資源ごみの集団回収事業を始め、六年度は月に一回の全町域への資源ごみ回収の拡大。それからクリーン指導員の設置、ごみ処理容器、EMボカシへの補助をやっている。平成十年からは五種分別門口収集を実施し、ごみの減量化に努めてきた。

問 健康保険証の個人化

健康保険課長 健康保険法施行規則の一部改正がございまして、平成十三年四月一日から実施されるようになっております。これは被保険者の利便性を図ろうという観点から、その一人一枚のカード化を進めているようでありまして。このことは準備の整った保険者から実施する市町村の財政状況を考慮しながら実施をしてみたいということになっております。さらに県下市町村の状況、国保連合会、現在の被保険証については各市町村の状況もふまえてできるだけ早い時期にこの被保険者の利便性を図る意味から実施を検討していきたいと考えております。

問 健康保険証の個人化

健康保険証の個人化

この一般質問の内容は、会議録(録音テープ)に基づいて各議員が原稿をまとめ、編集委員会が最終確認をしたものです。



富 春治 議員

マリントウン事業で人工ビーチ計画の達成度と町構想と具体策を問う

問 人工ビーチは収益機能の高い計画で県への提起を!!

人工ビーチは収益機能の高い計画で県への提起を!!

問 現時点での地元計画は

現時点での地元計画は

問 健康保険証の個人化

健康保険証の個人化